

埼玉)こっちも熱いぞ！ 川越八幡宮でこども相撲

2016年6月19日 03時00分



川越市の川越八幡宮では18日、こども相撲大会が開催された。市内を中心に県内外から4～10歳の男女約430人が出場。境内につくられた仮設の土俵で、豆力士たちは力いっぱいの取り組みを見せていた。

こども相撲は、「相撲神社」として知られた民部稻荷の伝統行事だったが、50年ほど前、ビル建設のため民部稻荷が近くの八幡宮へ合祀(ごうし)されて間もなく、開催が途絶えた。その後、復活を望む地元の声に押され、八幡宮の氏子青年会が地域の年配者に当時の様子や運営方法を教わるなどして10年前、再開にこぎつけた。

土俵では、倒されて泣き出す女の子や、投げ技を豪快に決める園児も。暑さに負けない一生懸命な姿に、保護者ら観客から熱い声援が飛んでいた。(西堀岳路)